

## 関上地区まちづくり協議会 世話役会(3) 議事録

日時	平成 26 年 5 月 13 日 (火) 18:30~20:25
場所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 阿部ひで、(副代表) 今野義正、宇佐美久夫、今野慎介、鈴木政義、沼田智幸、(事務局長) 南部比呂志 (事務局) コンサルタント 4 名 アドバイザー : 仙台高等専門学校 坂口先生、祝先生、学生 1 名 会員 : (監査) 阿部隆 オブザーバー : 名取市職員 4 名 報道機関
議題	0. 世話役会議事録について 1. 事務について 2. 送付分について 3. 進め方について 4. その他
資料	資料-0 議題、世話役会(1)議事録(案)、世話役会(2)議事録(案) 資料-1 送付文案

### ○ 協議要旨

#### 0. 議事録の確認

- ・第 1 回、第 2 回世話役会の議事録を一部修正し確定する。

#### 1. 事務について

- ・住所 名取市増田一丁目一番三号 (宛名: 関上地区まちづくり協議会)
- ・電話番号 初期は携帯電話を取得し、以降に固定電話に切り替える。
- ・メールアドレス info@yuriage-machikyo.net でドメインを取得する。

#### 2. 送付文について

- ・文書を一部修正したものを協議会のオリジナル封筒に封入して、名取市が送付代行する。

#### 3. 進め方について

- ・移動会議の意見とりまとめによるビジョン作成を行う。
- ・(仮)提案箱の提案書たたきを次回までに作成する。
- ・仙台高専に模型制作を依頼し、協議会が提示したスケジュールに合わせ検討を進める。

次回予定: 世話役会(4) 5/20(火)18:30~ 名取市復興区画整理課会議室

## 以下、世話役会の主な意見について記載する。

会議を進めるにあたり、進行を事務局長である南部比呂志に選任した。

### 0. 議事録について

- 世話役議事録(1)について確認。
  - 次回の場所は「区画整理課会議室」として修正。
- 世話役議事録(2)について確認。
  - 議事録へ発言者名の記載は必要か。
  - 箇条書きにして、会員、アドバイザー、オブザーバー(名取市)とが区別できればいいだろう。
  - 「キッズスペースがある会場を用いて子育て世代に公園等の意見を聞く」という表現に修正。

### 1. 事務について

- 住所はコンサル事務所を間借りし、名取市増田一丁目一番三号 閑上地区まちづくり協議会とする。
- 固定電話を取得するのに1ヶ月程度かかるので、まずは携帯電話を取得するのはどうか。
  - 問い合わせ先は早期に取れる携帯電話が望ましい。その後、固定電話をすればいい。
  - 案内文書を早期に送るため、携帯電話を取得する。
  - (一同)了承した。
- ホームページやメールアドレスは、独立した協議会の情報発信として取得する。ホームページの開設には1ヶ月かかるが、複数のアドレス候補から選んでいただきたい。
  - 独自ドメインであれば、フェイスブックも含めて情報発信しやすい。
  - machikyo がわかりやすいのではないか。
  - net がネットワークという意味も含まれているのでいいだろう。
  - yuriage-machikyo.net かどうか。
  - (一同)了承した。
  - 現在のブログは移行可能なのか。
  - 準備世話役会のブログなので、協議会からリンクする。気にしないで行ける。
  - ホームページ開設までは、工事中のような案内があるといい。

### 2. 送付文について

- 問い合わせ先に事務局情報を入れて発送する。届出書には震災時住所を追加したが、メールアドレスは記入してもらうかどうか。
  - メールアドレスには、携帯メールとPCメールとがある。
  - 換地の文字抜けがある。
  - 意見・提案をいただくためアンケート票も同封するといいのではないか。
  - 新聞記事も同封してはどうか。
  - ニュースで「住民主体」となっていて反響がある。
- 返信用封筒は協議会独自のものを作成する必要がある。
  - 送信用封筒も協議会独自のものでいいのでは。
  - 名取市の封筒だと開けてない人がいる。
  - 封筒の色は水色がいいのではないか。
- 送付先の616世帯はどういった方々なのか。
  - 【名取市】意向調査を期限までに回答した人の数字である。追跡調査等を反映していない。

### 3. 進め方について

- ・協議会の三役で、市長、副市長、部長へ挨拶回りをした。市長からビジョンの必要性を問われた。
- ・住みたくなる閑上地区とはどんなものか、公園や道路、景観などを積み上げつukっていきたい。
  - 仮設キャラバンの意見を単純集計したが、それを世話役でコンセプトに取りまとめるなどして作り上げ、それをビジョンとして仮設キャラバンで回ったらどうか。
  - 情報発信できるビジョンは、文書がベースのもの。
  - 文章だけでは伝わらない。模型や写真などの表現により情報発信することができる。
- ・キャラバンでは、正確な情報についても伝える必要があるのではないかと考えている。
  - 協議会から市の説明を発信することにより、安心感を与えることもひとつの役割である。今までの説明会の内容も、疑心暗鬼になる部分もあるので、正確な情報が必要である。
  - 答えられない場合でも、持ち帰るとか、市の担当を呼ぶとか、情報を提供するべき。
  - 正確な情報を伝えるには、自分たちだけでは限界がある。
- ・協議会宛ての提案書を受け止める箱を設置し、自由に投函してもらえ準備を同時にするべき。
  - 多くの方の自由な意見をいつでも受け止められる体制を押し出していくことが必要。

(場所)

  - 市役所ロビーにメッセージボード設置など、広く意見を聞き取れるような工夫も必要。
  - 用紙を作成し記名で提案してもらおうほうがよい。最初は市役所で、その後、仮設住宅。
  - 子供たちの意見を聞くことも重要という意見もあった。小学校に置くこともあり得る。

(内容)

  - 9月までに提案する3つの検討項目を軸に受け付けるなどの工夫が必要だと思う。
  - ビジョンの説明ができる内容が決まっているほうがよいのではないかと。
  - 意見を取り逃していることが多いと思う。目安箱はその意味でもある。

(方法)

  - テーブルに箱を置くだけではダメなので、情報発信する内容も合わせた準備が必要。
  - 提出意見を掲示し他の意見を引きだしながら、参加も促す仕組みが必要だろう。
  - 次回までの宿題として、目安箱の内容を具体化させる。たたき台を作ってくる。
- ・【坂口先生】模型の使い方、まちづくり協議会の思い、意見が多岐にわたるので、皆さんが考えるための模型をつくっていくことを想定している。公園や学校周辺など、言葉でわかりづらい部分を模型にして、段階ごとにスタディ模型で検討を進められるといい。それらを蓄積させて見栄えのいい模型を作成していくというような流れはどうか。
  - 市役所ロビーに置く場合、どのくらいのスケールが考えられるか。
  - 【坂口先生】1000分の1で全体を作ってもうすっぺらで意味がない。それならパネルでいい。住宅や公園など、部分を拡大した模型であれば、仮設にも持っていける。
  - 模型にする範囲を決めて、進めるのがいいだろう。
  - ガイドラインや事例などをパネルなどで比較案を示しながら意見を聞くことも重要。
  - 【坂口先生】検討スケジュールが決まれば、作業に取りかかることができる。全体のスケールをつかむために住宅が入った平面図などのパネルがあるといいだろう。
  - まずは協議会のスケジュールを作って、検討の進め方を整理していく。

### 4. その他

- ・【会員】皆さんの議論に刺激を受けた。できるだけ傍聴に来るようにしたい。
  - 参加メンバーを増やす方法を考えるべき。